



医療とまちづくり

これからのシンポジウム

●開催日

平成29年
9月16日(土)
会場11:30 開演13:00~16:00

●講演者

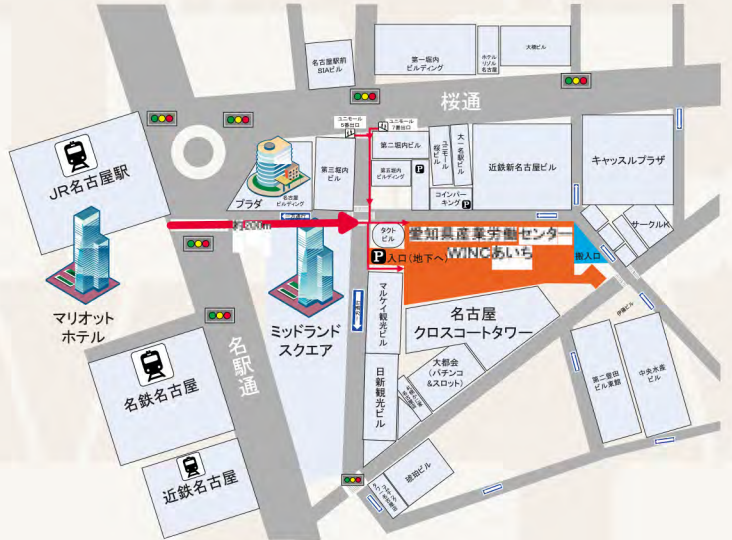
- | | |
|----------------------|--|
| 松井 三郎
(静岡県掛川市長) | 川嶋 みどり
(日本赤十字看護大学名誉教授) |
| 坂本 昭文
(鳥取県南部町前町長) | 川野 泰周
(臨済宗建長寺派林香寺住職、
RESM新横浜 睡眠・呼吸メディカルケア
クリニック副院長) |

●入場料

2,000円(全席指定)

愛知県産業労働センター ウィンクあいち(大ホール)
〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

JR 名古屋駅桜通口から
ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分



演者

松井 三郎

(静岡県掛川市長)

掛川市の地域健康医療支援センター「ふくしあ」は、行政(予防支援)、地域包括支援センター(在宅介護支援)、社会福祉協議会(生活支援)、訪問看護(在宅医療支援)のワンフロア化によって、地域包括ケアの様々なニーズに迅速に対応しており、2015年の厚生労働大臣優秀賞を受賞した。市長自らこの取り組みなどについてご報告頂く。



坂本 昭文

(鳥取県南部町前町長)

南部町は、町内自治組織への支援体制(地域振興協議会、まちな保健室)、ボランティア活動の社会的企業化(あいのわ銀行、町認定のヘルパー制度)などに取り組んでいる。「統合医療によるまちづくり」を旨として、平成28年度には町民を対象としたヨガやエネルギー療法の研究を行った。その結果などについてご報告を頂く。



川嶋 みどり

(日本赤十字看護大学名誉教授)

日本の看護学の第一人者として活躍され、長年にわたって「自然治癒力を引き出す」「生活行動の援助」が本来の看護であることを訴えてこられた。2007年には、赤十字国際委員会から第41回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章された。長年のご経験をもとに、健康長寿のための看護師・保健師の役割などについてご講演を頂く。



川野 泰周

(臨済宗建長寺派林香寺住職、
RESM新横浜 睡眠・呼吸メディカルケア
クリニック副院長)

禅宗の寺で育ったご経験をもとに、従来の西洋医学的な手法だけでなく、特に精神神経科領域で、マインドフルネス瞑想や禅の要素を積極的に取り入れた診療を行っている。また、地域教育の再興を旨とする「寺子屋ネットワーク」にも、積極的に関わっておられる。スピリチュアリティの面から、今後の医療とまちづくりについてご講演を頂く。



コーディネーター 鈴木 清志 (一般財団法人MOA健康科学センター理事長)

主催 一般社団法人 MOAインターナショナル / 一般財団法人 MOA健康科学センター

後援 厚生労働省 / 消費者庁 / 文部科学省 / 農林水産省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 環境省 / 総務省 / 愛知県 / 名古屋市

お問い合わせ 「これからの医療とまちづくりシンポジウム」窓口

〒461-0003 愛知県名古屋市東区筒井 3-4-17 TEL 052-935-5163
〒108-0074 東京都港区高輪 4-8-9 TEL 03-5791-1115